

第21回
日本乳癌学会九州地方会
教育セミナー

診断編

テーマ：バイオマーカー

症例 1 : 60歳女性 (閉経後)

2019年5月 左乳癌

- T2N1M0 Stage IIB

IDC, HG2, ER 40%, PgR 5%, HER2 1+, Ki67 LI 18.8%

- 手術 Bp + Ax

IDC, pT2, pN1a, 断端陰性

- 標準治療 + 放射線治療

2023年2月 頸部～縦郭リンパ節腫大、多発肺結節

- 腫大リンパ節の一部を摘出生検

metastasis of IDC, ER 0%, PgR 0%, HER2 1+, Ki 67 LI 50%

Q. 今後、必要なバイオマーカー検索は何か？

症例2：60歳女性（閉経後）

T2N1M0 Stage IIB 乳房全切除術を行った。
切除検体の取り扱いについて適切なものはどれか。

1. 腫瘍部よりバイオロジー検索用検体を採取し、手術終了（2時間後）まで生理食塩水に浸し、室温においた。
2. 脂肪量が多かったため、15%ホルマリン液で固定した。
3. 検体を冷蔵庫に保管し、手術終了後（2時間後）に固定を開始した。
4. 大きな検体だったため、5日間かけてしっかり固定した。
5. 固定前に腫瘍部に割をいれた。